

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月17日

上場取引所 東

上場会社名 **ゲンダイエージェンシー株式会社**
 コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 正卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

四半期報告書提出予定日 平成26年10月31日 配当支払開始予定日

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,736	2.0	657	△25.9	673	△24.3	401	△27.3
26年3月期第2四半期	8,569	△4.9	887	△4.0	889	△4.0	551	△5.8

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 392百万円 (△28.7%) 26年3月期第2四半期 550百万円 (△5.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	25.33	—
26年3月期第2四半期	33.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭	円銭	
27年3月期第2四半期	8,178	—	5,219	—	63.5	—	330.59	
26年3月期	8,487	—	5,589	—	65.7	—	335.75	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 5,190百万円 26年3月期 5,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	17,300	2.1	1,450	△11.1	1,450	△12.1	900	△12.7	57.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年10月17日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	15,700,000 株	26年3月期	16,600,000 株
27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
27年3月期2Q	15,837,238 株	26年3月期2Q	16,600,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

1株当たり予想当期純利益については、当社は当連結会計年度において新たに自己株式を取得したことから、当該取得を反映した予想期中平均株式数を用いて算定しております。なお、予想期中平均株式数は、通期15,768,807株であります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済政策や金融緩和策により円安・株高が進み、景気回復の兆しが見られるものの、輸入物価の上昇を背景とした国内物価への上昇圧力や4月以降の消費税率の引き上げによる個人消費低迷の懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界では、消費税増税や建築費高騰等の影響により、パチンコホールのグランドオープン案件が減少するなど、盛り上がり欠ける状況が続きました。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において販売シェアを拡大していくため取引顧客数の更なる増加に向けて取組むとともに、前期末に連結子会社化した通販業界を主要顧客とする株式会社ユーアンドユー（以下、UU社）において、新たな体制と今後の営業戦略の構築を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,736百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は657百万円（同△25.9%減）、経常利益は673百万円（同△24.3%減）、四半期純利益は401百万円（同△27.3%減）となりました。なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第2四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場は、一昨年来の広告規制に伴う需要の低迷に加えて、例年期待されるゴールデンウィーク前のパチンコホールのグランドオープン件数が極端に減少した結果、新店告知需要が大幅に減少し、また消費税増税の影響の見極めのため、各ホール企業とも積極的な集客活動を手控えた影響等も重なり、全体としての広告需要は期初の予想以上に大幅に減少して推移いたしました。

こうした環境下において、当社は、取引顧客数の更なる増加に向けた広告提案活動を強化する一方で、デザイン業務の効率化によるコスト削減に向けて取組んでまいりました。またUU社において、新たな体制と今後の営業戦略の構築を進めてまいりました。

その結果、広告事業の売上高は、前期末に新期連結したUU社の売上高510百万円が寄与し、8,661百万円（前年同期比2.3%増）となりましたが、主としてパチンコホール広告の売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益は848百万円（同△19.6%減）となりました。

(不動産事業)

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社の㈱ランドサポート（以下、LS社）において、既契約で継続中の2件の賃貸案件のほか、賃貸物件仲介案件（仲介手数料売上合計1百万円）を成約いたしました。

その結果、不動産事業の売上高は74百万円（前年同期比△24.8%減）、セグメント利益は29百万円（同△14.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期末における総資産は8,178百万円となり、前連結会計年度末比△309百万円の減少となりました。

これは、主に納税、配当および自己株式の取得により現金及び預金が△355百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は2,959百万円となり、前連結会計年度末比60百万円の増加となりました。これは、主として借入金（長期含む）が54百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は5,219百万円となり、前連結会計年度末比△369百万円の減少となりました。これは、四半期純利益401百万円を計上する一方で、株主還元として自己株式取得△551百万円および利益配当△232百万円を実施したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益637百万円を計上した一方で、前期決算に係る法人税等の納付額△301百万円があったこと等により457百万円の収入（前年同期は451百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得による支出△79百万円があったこと等により△92百万円の支出（前年同期は△205百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得△551百万円、前期決算に係る期末配当金の支払△232百万円があったこと等により△729百万円の支出（前年同期は△406百万円の支出）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物は当第2四半期において△352百万円減少し、3,486百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成26年4月18日付当社「平成26年3月期決算短信」にて発表いたしました平成27年3月期の業績予想を修正しております。詳細は本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,804	3,448
受取手形及び売掛金	2,226	2,244
有価証券	-	100
繰延税金資産	29	26
その他	151	183
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,210	6,001
固定資産		
有形固定資産		
土地	767	767
その他(純額)	125	151
有形固定資産合計	893	918
無形固定資産		
投資その他の資産	1,124	937
固定資産合計	2,277	2,176
資産合計	8,487	8,178
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,289	1,346
短期借入金	600	100
1年内返済予定の長期借入金	156	260
未払法人税等	318	256
その他	238	257
流動負債合計	2,601	2,220
固定負債		
長期借入金	270	720
資産除去債務	16	8
その他	10	10
固定負債合計	296	738
負債合計	2,898	2,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,752	3,369
株主資本合計	5,567	5,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	5
その他の包括利益累計額合計	5	5
少数株主持分	15	28
純資産合計	5,589	5,219
負債純資産合計	8,487	8,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,569	8,736
売上原価	6,522	6,774
売上総利益	2,047	1,962
販売費及び一般管理費	1,159	1,304
営業利益	887	657
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	0	0
為替差益	2	16
還付加算金	0	—
その他	2	2
営業外収益合計	7	22
営業外費用		
支払利息	4	4
その他	0	2
営業外費用合計	4	7
経常利益	889	673
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	22
事務所移転費用	—	14
特別損失合計	—	36
税金等調整前四半期純利益	890	637
法人税、住民税及び事業税	322	244
法人税等調整額	19	△0
法人税等合計	342	244
少数株主損益調整前四半期純利益	548	392
少数株主損失(△)	△2	△8
四半期純利益	551	401

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	548	392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△0
その他の包括利益合計	1	△0
四半期包括利益	550	392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	553	401
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	890	637
減価償却費	34	34
のれん償却額	—	22
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△1	△3
支払利息	4	4
為替差損益 (△は益)	△2	△16
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	22
売上債権の増減額 (△は増加)	51	△11
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5	△11
仕入債務の増減額 (△は減少)	72	58
その他	△34	23
小計	1,008	759
利息及び配当金の受取額	0	4
利息の支払額	△4	△6
法人税等の支払額	△553	△301
営業活動によるキャッシュ・フロー	451	457
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34	△79
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△0	△66
投資有価証券の取得による支出	△204	△0
投資有価証券の売却による収入	—	30
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△34
敷金及び保証金の回収による収入	11	40
その他	20	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△500
長期借入れによる収入	—	700
長期借入金の返済による支出	△174	△167
自己株式の取得による支出	—	△551
配当金の支払額	△232	△232
少数株主からの払込みによる収入	—	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△406	△729
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△157	△352
現金及び現金同等物の期首残高	3,981	3,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,823	3,486

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、平成26年7月18日開催の取締役会決議に基づき、平成26年8月29日付で、自己株式900,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ551百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末において利益剰余金が3,369百万円、自己株式が－百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	広告事業	不動産事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,469	99	8,569	—	8,569
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,469	99	8,569	—	8,569
セグメント利益	1,055	34	1,090	△203	887

(注) 1. セグメント利益の調整額△203百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	広告事業	不動産事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,661	74	8,736	—	8,736
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,661	74	8,736	—	8,736
セグメント利益	848	29	878	△220	657

(注) 1. セグメント利益の調整額△220百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△220百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	5,168	96.4
販促物	1,271	95.4
媒体	1,130	188.5
その他	1,090	92.6
広告事業計	8,661	102.3
不動産事業	74	75.2
合計	8,736	102.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。